



# 自分たちが、未来へとつないでいきたい 漆山の「お宝」を見付けよう！ 漆山小学校



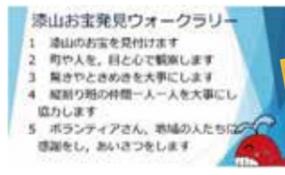
## 1 全校ウォークラリー活動で見つけた「お宝」を「カルタ」にして、残していこう！（全校縦割活動）

弥彦参りの街道として栄え様々な伝説の残る漆山。巻・潟東インター付近の漆山企業団地。今年度は、昔を知るお宝、企業団地を中心に漆山が誇る企業、人々が集う場所をお宝ポイントとして設定し縦割り班で巡りました。そこで見つけた良さを「カルタ」にして発信しました。

エリア	お宝ポイント	お宝ポイント	お宝ポイント	お宝ポイント
1	1. 漆山公民館	2. 漆山小学校	3. 漆山公園	4. 漆山神社
2	5. 漆山公民館	6. 漆山小学校	7. 漆山公園	8. 漆山神社
3	9. 漆山公民館	10. 漆山小学校	11. 漆山公園	12. 漆山神社
4	13. 漆山公民館	14. 漆山小学校	15. 漆山公園	16. 漆山神社
5	17. 漆山公民館	18. 漆山小学校	19. 漆山公園	20. 漆山神社

校区内の漆山方面から、チェックポイント19を選出。全校児童は16の縦割り班で、地図を見ながら、必須ポイントや行ってみたいポイントを相談しながら選びます。そして班で回ります。ポイントには黄色枠のような問題があり、みんなで相談し、2枚のシートに答えを書いていきます。

### さあ、漆山のお宝を見付けに行こう！



### 漆山企業団地にある、航空機エンジン部品を製造する「JASPA株」へ！



JASPA株は、航空・宇宙関連部品の品質管理や保証業務を行う日本を代表する企業。この日本の未来を創る高度な技術力を持つ航空機部品専用の工場が、漆山小学校区内の企業団地にあります。機械加工、特殊加工、表面処理などの複数工程からなる一貫生産ラインを作り、航空機エンジン部品を製造しています。また、新潟市などが進める航空機クラスター機構（NIIGATA SKY PROJECT）の中核施設として期待を集めています。航空機エンジン模型での噴射実験やドローンも見せていただきました。

**子どもの声**  
ぼくたちの学区に、日本の飛行機の部品やエンジンを開発している会社があり驚きました。エンジン噴射実験の音もすごかったです。

### 世界のアマノ 故人 天野尚氏が創設したネイチャーアクアリウムの(株)アクアデザインアマノへ！



「自然から学び、自然を創る。」というコンセプトで、水槽レイアウト創作や自然の風景写真を撮る写真家である漆山出身の天野尚氏（1954～2015）が、創設した株式会社アクアデザインアマノも、漆山校区にあります。ネイチャーアクアリウムという水草レイアウト、水槽や照明・CO2添加器具などの製品をデザイン、開発しています。ギャラリーや社屋内で水草が茂り熱帯魚が泳ぐネイチャーアクアリウムの世界に子どもたちの目は釘付けでした。

**子どもの声**  
学校の近くにあるアクアデザインアマノさんを初めて見学できました。光を採り入れた水槽の中でゆらぐ水草や、その間を泳ぐたくさんの熱帯魚がきらきらと輝いていて美しかったです。

**子どもの声**  
漆山のお宝は、「歴史」と「新しいもの」と両方だと思います。神社やお寺、伝説のような歴史が繋がってきたもの。そして、JASPAやアクアデザインアマノのように新しく創り、漆山から世界に発信しているもの。両方がお宝だと思います。  
赤池跡は漆山だから大切にしていきたいと思います。赤池はもうないけれど、田んぼの水争いによる赤池伝説は貴重だから、私たちが語り継いでいかなければならないと思いました。

## ウォークラリーで「いいな」「すごいな」と感じたことを「お宝カルタ」にしよう！

みらいずworksのスタッフの方から、カルタ作成について教えてもらいました。縦割り班16班ごとに、相談をしながら、カルタの言葉を考え合い作っていきました。

まず自分たちが担当したポイントから作ろうよ。思い出したよいところをいっぱい出すといいんだって！

### うるしやまカルタとは？



なるべく「五七五」のリズムでつくろう！前半の「五七」で説明を入れ、最後の「五」に、お宝の名称や伝えたいことを入れよう！そうすると、前半の説明をしっかりと聞いてもらえるからよいコマースタルになるよ。



公民館には、赤池の写真や昔の小学校の写真があったよね！

### 子どもの声

縦割り班のみんなと相談しながら、カルタの言葉を考えるのは、最初は難しかったけれど、楽しかったです。

高学年が中心になって、ジャンボカルタに作りあげました。



## できあがった「お宝カルタ」を、地域の人にお披露目したり、祖父母参観日に縦割り班対抗の「ジャンボカルタ大会」をしたりしました。



自分たちで作り上げた漆山「お宝カルタ」。ウォークラリーで巡ったチェックポイントで分かったこと、歩きながら見つけた良さや、風や自然、人の温かさをカルタにしました。10月29日の学習発表会で、できあがったカルタをお披露目しました。その後、11月17日の祖父母参観で縦割り班対抗ジャンボカルタ大会を実施しました。また、漆山公民館にもカルタを展示していただきました。

## 2 地域の偉人である馬堀用水の創設者 田辺小兵衛について調べ、業績を語り継いでいきます！（3年生）

300年以上も昔、馬堀の地域では田に水を引く川や用水がなかったため、3～5年に1回しか米の収穫ができませんでした。そんな人々の苦しみを「何とかして救いたい」と願った人が24歳の若さで庄屋になった田辺小兵衛でした。小兵衛は吉田の西川から馬堀まで用水を引くことを考え、様々な苦勞の末、見事、馬堀用水を完成させました。3年生は長恩院の田辺光栄さんに教わったり調べたりしたことを、全校児童や、他校、保護者や地域の人に、「田辺小兵衛物語」としてまとめ、功績を伝えました。



「吉田から馬堀まで西川の水を流す用水を掘らせてください。」と数十回、長岡藩主に直訴し、着工の許可を得た。



大人も子どももみんなで用水を掘った。



1644年、とうとう馬堀用水が勢いよく流れ、田をうるおした。



1年後、幕府の役人から地図にない用水を指摘された長岡藩は、責任を小兵衛に押しつけ、自殺を命じた。



小兵衛の死後100年以上後、峰山の殿様は、馬堀の恩人、小兵衛の罪を晴らし、長恩院に立派な墓を建てた。



### 子どもの声

小兵衛さんはすごい人だと思いました。馬堀用水を作って、馬堀の田をうるおしたからです。小兵衛さんのおかげで、中々口の田までうるおせました。田辺小兵衛さんのことを、味方小の4年生や、たくさんの人に伝えられてよかったです。